

笑門来福



保育園交流はいつも笑顔があふれます

春のドライブは美味しいランチと、小久慈焼き体験

今年も施設長を中心に花植え、野菜づくりをしました



いつもありがとうございます

- ★ どんぐり工房 様
- ★ 佐藤真佐枝 様
- ★ ケン坊床屋 様
- ★ 草月流山口社中 様
- ★ 川代三弦会 様
- ★ 大川目歌謡会 様
- ★ かつこうとハツラツサロン 様
- ★ 玲扇州会様
- ★ 久慈東高等学校吹奏楽部 様
- ★ フラ・レイ久慈様
- ★ Unity of Kids 様
- ★ 大川目小学校 様
- ★ 大川目中学校 様
- ★ 大川目保育園 様
- ★ 山口保育園 様

編集後記

毎年春頃になると、養寿荘の玄関付近にはツバメが巣を作ります。そこで子育てをした子ツバメの旅立ちをハラハラしながら見守るのが、養寿荘に勤めはじめてからの恒例の楽しみとなっています。大川目という立地柄、季節を感じる環境に恵まれており、虫を見ては観察し、蛙・ミミズを見ては「かわいい」とにんまりする日々。少しばかり変人扱いされているかも？と心配になりますが、兎にも角にも自分にとっての何よりの「心の栄養」です。皆さんにも日々のちょっとした楽しみが生活の糧になっていること、ありませんか？(中田)

施設からのご案内

今年も早いものでお盆を迎えます。8月13日には慈光寺のご住職にも来設いただき、盆供養を予定しております。入所者の皆様もご家族の面会を心待ちにされております。ご来荘お待ちしております。また外出・外泊のある方はお早めにお知らせください。

また、9月13日(木)には敬老会を開催します。今年は米寿のお祝対象者4名となりにぎやかに開会予定です。ご家族の皆様には、別途ご案内させていただいておりますが、是非今年も皆様お誘いあわせのうえ、ご臨席賜りますようお願い申し上げます。

【面会は8:00~19:00まで】

発行者： 養護老人ホーム養寿荘
 責任編集： 泉澤民義(施設長)
 発行日： 平成30年8月10日
 住所： 久慈市大川目町23-2-4
 電話： 0194-55-3257
 FAX： 0194-55-2901



かきはなび平成30年号

—私たちは「安信共誠」を目指します—



音楽の祭典・30

8月5日(日)、3回目となる『音楽の祭典』が開催されました。今年の例年になく酷暑の影響の方ばかり心配していましたが、実は今年の養寿荘の行事の降水確率なぜか、90%以上！そのため祭典も大雨の中の開催となってしまいました。市内で活動する音楽団体をお呼びして開催している「音楽の祭典」ですが、今年は「久慈東高等学校吹奏楽部」のワクワクする演奏に始まり、「Unity of Kids」の子供たちの可愛いヒップホップダンス、「フラ・レイ久慈」の華麗なフラダンスと素敵なお楽しみ1時間半となりました。今年度は地域の皆様にも観覧に足をお運びいただいたこともあり盛り上がりの中で開催できたこと、多くのご協力を頂き、誠にありがとうございました。



事業団事務局 TEL61-3313
 特別養護老人ホームぎんたらず久慈 TEL61-3313
 養護老人ホーム養寿荘 TEL55-3257

大川目地区デイサービス 元気の泉 TEL55-2921
 デイサービスセンター TEL52-7167
 居宅介護支援事業所 TEL61-1559
 訪問介護事業所 TEL61-1552
 訪問入浴介護事業所 ヘルパーステーション

宇部地区デイサービス TEL62-1234
 山根地区デイサービス TEL57-2797
 久慈老人福祉センター TEL53-0469

【事業団ホームページはこちら】
<http://kujishi-jigyoudan.jimdo.com/>

社会福祉法人 久慈市社会福祉事業団【スローガン】 安信共誠

- 【安信共誠】とは・・・
- ・利用者様にとって「安心」できる
 - ・ご家族に「信頼」される
 - ・地域と「共に」歩み、共存する
 - ・「誠実」なサービスの提供





大川目中学校慰問交流

H30.7.19.岩手日報

「こんにちは!!よろしくお願ひします。」明るい笑顔と元気の良い挨拶が養寿荘に響き渡りました。

7月17日(水)大川目中学校(生徒総数45名)との慰問交流日です。入所者の月誕生会のお祝いの後、「施設周辺一斉清掃」の予定が…、あいにくの雨となってしまいました。

施設長より雨女の称号を頂き、肩身の狭いN相談員です。それでも中学生の皆さんは「大丈夫です。どこでも掃除します!」と頼もしいお言葉。

急遽施設内の拭き掃除に変更して1時間ほど作業してくれました。当日は岩手日報と久慈市の記者さんも取材に来てくださり、新聞記事にもしていただきました。

中学校とは、運動会や音楽祭見学にも行かせていただくなど毎年交流を続けており、これからも是非続けていきたいイベントのひとつです。中学生の皆さん、暑い中、本当にありがとうございました。



今年養寿荘玄関では、大きなクマが皆さんをお出迎えています。



泉澤施設長のつぶやいた『雨にもマケズ…』



さい先頃「花見会」をしたと思っていたら、早くも「お盆」となります。それにしても今年のイベントは「花見会」「保育園・中学生」との「交流会」「夏祭り」「音楽の祭典」と続きましたが、なぜか、雨、あめ、アメ…。最近では「ここには『雨降らし』が住みついている」との噂が絶えません。この『雨降らし』の特徴は、昆虫類が大好きで天気が崩れる前には、頭痛や神経痛に悩まされることです。それでも入所者は笑顔で元気一杯に花植えや、ジャガイモ堀りに取り組みました。イベントの時には、より一層元気になり「人は人と共に生きていること」を実感させてくれます。これからも、法人のスローガンを大切に、笑顔で元気一杯の施設運営に努めて参ります。



寄稿

「なつまつり」

子供たちのクリクリした可愛いお目目
年を聞くと「三才」「四才」と云ふ答えて握手するとやわらかく温かいお手手 もうたまらない私にもこんな時代があったかしら私の生まれた頃(昭和三年)は戦で農村不況(父はブラジル移民を考えたと説得したとのこと)とそれで良かったのだと私はおもう屋台のカキ氷、何十年前前に食べた懐かしい味「でんがく」もおいしかった西瓜もうまかったし、前前から職員の方々と私達で準備してた夏祭り大成功だったと想います
目を閉じると
「わっしょい わっしょい」
みこしを担ぐ園児達の笑顔が浮かびます
また来年を楽しみに待っています



雷去りて 色鮮やかな 北の市 草花を売る
（村の市日を詠んで）
東京は 恐いと云いし 第よ 母も在るから
（サリン事件があつた彼の日）
遠くへは 行くなど 妹は嫁く 恋しき人へ
（四国に居る妹を想って）

